

明文化、5. 実施状況等の記録、6. 危険性または有害性などの調査(リスクアセスメント)、実施事項の決定、7. 労働安全衛生目標の設定、8. 安全衛生計画の作成、9. 安全衛生計画の実施、10. 緊急事態への対応、11. 日常的な点検、改善など、12. 労災発生の原因調査、13. システム監査、14. システムの見直し、が挙げられる。

海外においては、諸外国の国家規格の要素を取り込みISO化する作業が進んでいる。その目的は、労働安全衛生上のリスクを管理する枠組みを提供し、意図する成果は労働者の労働に関する負傷および疾病を防止すること、また安全で健康的な職場を提供することであるが、協議の進捗状況により、発行は来年3月以降になる見込みである。

なお講演終了後、大場先生より以下の話があった。

安全衛生マネジメントシステムは産業医の皆さまにとって、やや関係が薄いと思われた方もおられるかもしれないが、各企業のトップと安全衛生管理者、従業員、産業医、コンサルタントが一緒になって、災害や健康障害の結果だけでなく、職場パトロール、安全衛生委員会などの機会を通じて、その根本原因の改善の提言

をしていくことが求められる。

そのためにも、事業場の安全管理システム、安全衛生マネジメントシステムの内容について把握し、助言していくことは必要と考える。

この講演が皆さまの活動に役立つことを祈念する。

担当理事コメント

平成27年12月にストレスチェックの実施が義務化されて以降、初めて実施結果の集計が発表されたが、労働者数が少ない事業場では実施率、集団分析の実施状況ともに低い結果となったようである。今後も引き続き広島県内および厚生労働省の動向を注視していきたい。

一方、国の働き方改革の一環として、治療と職業生活の両立支援や産業医・産業保健機能の強化に加え、医師の働き方についても検討が進められているところである。このような内容について、今後も最新の情報を提供していく予定である。

本日の、大場労働安全コンサルタント事務所の大場直之先生による講演は非常に有益であった。

e-広報室 新着のお知らせ

e-広報室に下記を追加いたしました。



e-資料 通達文書

- 麻薬、麻薬原料植物、向精神薬及び麻薬向精神薬原料を指定する政令及び麻薬及び向精神薬取締法施行令の一部を改正する政令等の施行について
- 医療機器の保険適用等について
- 「医療機器の保険適用について」の一部訂正について
- 教育・保育施設等におけるてんかん発作時の坐薬挿入に係る医師法第17条の解釈について (通知)
- 平成29年度の医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査の実施について



医療時事ニュース (9月8日~9月14日)

- | | |
|---|-------------|
| ●原研と露機関 交流協定 放射線の健康影響 共同研究 | 9・8 読売・中国 |
| ●注目発信 熱中症対策に塩分摂取? 広島県医師会 加世田俊一 | 9・9 中国セレクト |
| ●広場 オブジーボ、胃がん適応 | 9・9 中国 |
| ●被爆作業員の調査難航 健診拡大 方策に苦心 放影研 福島原発事故後の2万人追跡 | 9・9 中国 |
| ●産婦人科の救急 治療解説の冊子 県医師会 | 9・10 中国 |
| ●乳がん手術 不要患者選別 遺伝子特定 4年後実用化へ | 9・10 産経 |
| ●発言 こころの病克服へスクライムを 山脇成人 日本学術会議脳とこころ分科会委員長 | 9・12 毎日 |
| ●遠隔死亡診断に指針 年度内にも開始 厚労省 | 9・13 中国 |
| ●「FMちゅーピー健康ばんざい」 中央通り乳腺検診クリニック 稲田陽子院長 | 9・14 中国セレクト |
| ●国民医療費 最多42兆円 超高額薬が影響 15年度 | 9・14 中国 |